



①亀岩

「亀の瀬」は古くから粘土層や地下水などの影響により、斜面の土塊がゆっくりと動き、災害をひきおこす「地すべり」の地域として知られています。奈良県と大阪府をつなぐ交通の要衝の地でもあり、国の大がかりな対策工事が行われています。

この亀の瀬には亀の形をした「亀岩」と呼ばれる岩があります。亀岩は国道 25 号の府県境にある橋の上から上流に見えます。亀岩の甲羅は大人が寝られるくらい大きさで、そのユーモラスな形は見るものの心をなごませます。



②旧国鉄 亀ノ瀬トンネル (現在未公開)

亀の瀬地すべり対策工事現場で、明治時代に造られた旧国鉄関西線亀ノ瀬トンネルの一部が原形で見つかりました。

トンネルは、旧大阪鉄道が建設。明治 25 年に完成しました。昭和 6 年に始まる地すべりで崩落したと考えられていました。線路は大和川対岸の現行ルートに付け替えられています。

トンネルは高さ 4.3 メートル、幅 4.3 メートルの馬蹄形をしており、レンガ構造の姿が当時のまま奇跡的に残っています。

今後、一般公開の方法を検討する予定です。

御座峰

嶽山、竜田山を中心とするこの地域は古代には製鉄業が盛んであったと考えられています。周辺の高地は製鉄を営むのに適した風が得られるところで、風神を祀ったと思われる風神降臨の聖地として御座峰が传承されています。



③竜田古道の里山公園

NPO法人柏原ふる里づくりの会と市民ボランティアが中心になって草刈りや植樹などがおこなわれる「竜田古道の里山公園」。柏羽藤環境事業組合の一般廃棄物最終処分場跡地にある公園で、市民の皆さんの手により 1000 本以上の桜や桃、つつじが植樹され、市民の安らぎとふれあいの場となるような「花の山」を目指して整備が進められています。



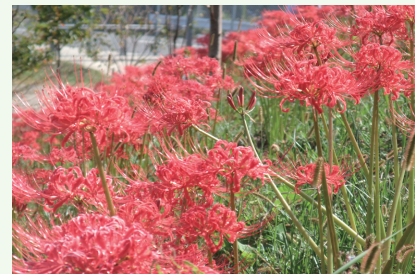
毎年開催されるさくらまつりの様子



人工池の周りの遊歩道



ダチョウのひなもお出迎え



秋にはヒガンバナが見事



ヤギのももとメイ